

議事録（概要版）

件名	生物多様性なら戦略 第3回改定委員会	記録者	エヌエス環境株式会社
月日	令和4年11月25日（金）		
時間	13:00～15:00	形式	委員会
場所	アクティ奈良スタンダードルーム		

出席者	希少野生動植物保護専門員	前田 喜四雄（哺乳類） 元吉 司（鳥類） 井上 龍一（両生・爬虫類） 細谷 和海（魚類） 宮武 頼夫（昆虫） 尾上 聖子（植物） 丸山 健一郎（菌類）
	生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会	木村 史明（橿原市昆虫館副統括）
	奈良県 景観・自然環境課	吉浦 慎治（課長） 福井 靖典（課長補佐） 山原 美奈（係長） 有山 麻衣子（主査）
	エヌエス環境株式会社	鈴木 拓哉（管理技術者） 川瀬 誉博（担当技術者） 胡 奈美（営業担当者）
	傍聴者	なし

議事次第

1. 奈良県挨拶
2. 令和4年度 生物多様性なら戦略 第3回改定委員会 出席者報告
3. 次期生物多様性なら戦略素案について
4. 奈良県希少野生動植物ニセツクシアザミの調査結果について
5. その他連絡事項

1. 議論「次期生物多様性なら戦略素案について」

項目	概要
委員会での議論の方向性	・今回の意見を参考にして、概要と素案をアップデートし、第4回改定委員会に出すこと。
本県の現状と課題について	・現状と課題を分けて書いた方が良い。 ・奈良県では、生物多様性（階層性）のバランスが取れた結果、人の営みと自然の移ろいゆく美しい景観がもたらされたと言える。 ・シカ、ナラ枯れ、タケ・ササ、クズ、スギ・ヒノキの間伐の必要性等の課題を取り上げることで、奈良県の地域性を出せる。
行動計画について	・今後、場合によっては遺伝子資源の探索・保全も必要になるのではないかと。 ・生物多様性に対する県民の関心・理解を高めるために、シンポジウムの開催、各家庭に配る普及版も検討したらどうか。 ・生き物の写真冊子や写真コンテストも検討したらどうか。 ・地域毎のシカの頭数も数値目標になるのではないかと。

2. 議論「ニセツクシアザミの調査結果について」

項目	概要
ニセツクシアザミの調査結果について	・ニセツクシアザミについては、分類学的な問題が残ったまま、特定希少野生動植物に指定されている状況といえる。その辺りを整理して、次回委員会で報告すること。

3. その他連絡事項等

項目	概要
次回委員会の予定	・第4回改定委員会は1月13日（金）13時～15時（アクティ奈良）。